

医療関連の分析装置や半導体分野の搬送装置部品で実績 1ロット50個～100個がボリュームゾーン



コレットの共有ができるのはメリット、との評価も

スーパー G1チャック 装着のメリット

「振れ精度の安定、
ビビリ抑制、真円度向上」
「切削条件を10%上げて、
生産性が1割以上向上」

「難削材の加工や小
径で深穴加工が多く
注と数個の量産品
も手がけているが、1
ロット50個から100
個がボリュームゾーン。
面粗度はかなり、面品
位、いわゆる見た目に
気を配る一方、日々、
ミクロン台の公差を目
指している」と語る。
ユキワ精工とは、古
くからの円テーブル
ユーザーとして関わっ
ていたという。

高圧クーラント付き設備の使用 頻度の高まりでツーリングを検討

ベルト掛け旋盤を1
台設備して盛岡で機
械加工業をスタート
させた小林精機。20
12年には、業務の拡
大に伴い、現在の「盛
岡西リサーチパーク」
（滝沢市）に本社工場
を移転し、昨年の2
月、医療関連の分析装
置と半導体分野の搬
送装置部品をそれぞれ
受注した。受注は、得
ばに食品機械やFA、
空調、車載関連など
の部品加工で占め
ている。

「ユキワ精工のツー
リング担当者の訪問
を受けたのは、201
5年。テスト加工で
グリーンG1チャックを
ラザーの小型マシン
グセンターに装着した
ことを思い出す。そう
だと、本格的に活用す
るようになったのは2
019年以降。受注内
容の高度化とも関係
するが、会社として
精度志向の強いツール
の活用が、トレンドと
なっていた頃からだ
という。



最初のテスト加工では
グリーンG1チャックを使用したと語る島山課長

「面粗度ばかりか 面品位にも気遣う。 狙う公差はミクロン台」

創業70周年を経た小林精機（岩手県・滝沢市）
ユキワ精工ツーリングユーザー訪問 フライス担当の島山課長に聞く



特別賞 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

速くキレイに 削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に迫り着く

ツーリングシステム

グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場／〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所／東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

<http://www.yukiwa.co.jp/>

グリーンG1チャック

検索

